

WESTUNION

第376号

2021年4月13日

JR 西労組 よなご

西日本旅客鉄道労働組合

米子地方本部

発行責任者 飯國 永睦

編集責任者 村尾 奈穂子

後藤労災事故から10年 後藤労災追悼献花式

後藤総合車両所において後藤工業労組の組合員が犠牲となる死亡労災事故から10年が経過しました。事故発生日である4月7日(水)に車両所にある「安全考動室」において中央本部から石田原部長、米子地方本部から飯國委員長と大川書記長、JR西日本連合の後藤工業労組・米子メンテック労組・山陰開発労組の代表者らで追悼献花を行いました。お亡くなりになった仲間の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、仲間の死を無駄にすることのないよう事故の再発防止と風化防止を誓いました。



↑ 献花台の前で黙祷を行う各単組代表者



《事故の概況》

2011年4月7日(木) 10時10分頃に後藤総合車両所構内で労災死亡事故が発生しました。列車の車輪を塗装する装置を点検していた作業員が、装置と移動式天井クレーンの操縦席の間に挟まれて亡くなりました。原因は設備点検作業と検修作業の競合が関係者間に知らされていなかったこと、クレーンに近接する作業を行うときの危険防止の措置が周知されていなかったことでした。

当時の事故現場の様子
操縦席(○部分)は現在撤去



この事故は、グループ会社社員が亡くなるという極めて痛ましい結果となりました。再発防止として、工事施工前・作業開始前に競合する作業の関係者周知を徹底、設備改良・クレーンに近接する作業における禁止事項や注意喚起の周知、リスクアセスメントの仕組みの改善が行われました。複数の作業が競合する時の関係者間の連絡と危険防止措置の実施は重要です。他系統、他職場においても事故に繋がるリスクが潜在していないか、安全感を今一度高めてください。

春闘報告集会開催

4月7日(水)に米子地方本部は米子ワシントンホテルにて春闘報告集会を開催しました。3月30日に妥結した2021春季生活闘争について中央本部から本田副執行委員長、石田原情宣・福祉対策部長、辻組織・業務部長、西川組織・業務部次長にお越しいただき、米子地方本部、各支部・分会の代表者と議論しました。

- 2021春闘妥結内容(詳細は業務速報参照)
- 基準昇給額表に基づいた基準昇給の完全実施
 - 夏季手当 1, 3箇月分(6月30日 支払い)
 - 特別一時金の支給(6月30日 支払い)
 - (社員、専門社員及び出向受社員 30000円)
 - (契約社員、シニアリーダーシニア社員10000円)
 - 初任給調整手当の加算(10000円)
 - 通勤手当の見直し(自社区間全て定期化)
 - 業務起因による新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者及び要観察者の勤務等の取り扱いの見直し(業務起因の場合 100/100)
 - 一部現業機関でのフレックス勤務制度の拡大



石田原情宣・福祉対策部長

集会では、本田副執行委員長・石田原部長より、春闘での会社との交渉の過程の説明がされました。本部からは「賃金交渉の回答が例年よりも遅い時期となり、妥結内容もこれまでの春闘に比べると厳しいものになった。これは、大変厳しい経営状況の中、ご利用状況や今後の見通しをできる限り見極めた上で、コロナ禍でも安全を確保し、お客様に安心してご利用いただけるように様々な取り組みを行っている皆さんの雇用と生活を守ることを第一に交渉した上で勝ち取った金額と一時金であることをご理解いただきたい」と報告があり、その後の質疑では、「2021春闘の結果に理解はしているが納得していない」「日々の感染対策も含め公私共に組合員は我慢している」「今後の一時帰休・部外出向の施策等についての不安」「本部と地本はもっと情報提供してほしい」等の声が寄せられました。その切実な意見と不安を中央本部・地方本部も受け止めた上で、2021年度、会社は健全な経営の為に黒字を目指していること、会社の施策・提案には慎重に判断すること、経営状態を好転させ、年間臨給の満額回答を求めて引き続き協議していくことを説明しました。

春闘報告集会



代表挨拶を行う中央本部：本田副執行委員長

集会では、本田副執行委員長・石田原部長より、春闘での会社との交渉の過程の説明がされました。本部からは「賃金交渉の回答が例年よりも遅い時期となり、妥結内容もこれまでの春闘に比べると厳しいものになった。これは、大変厳しい経営状況の中、ご利用状況や今後の見通しをできる限り見極めた上で、コロナ禍でも安全を確保し、お客様に安心してご利用いただけるように様々な取り組みを行っている皆さんの雇用と生活を守ることを第一に交渉した上で勝ち取った金額と一時金であることをご理解いただきたい」と報告があり、その後の質疑では、「2021春闘の結果に理解はしているが納得していない」「日々の感染対策も含め公私共に組合員は我慢している」「今後の一時帰休・部外出向の施策等についての不安」「本部と地本はもっと情報提供してほしい」等の声が寄せられました。その切実な意見と不安を中央本部・地方本部も受け止めた上で、2021年度、会社は健全な経営の為に黒字を目指していること、会社の施策・提案には慎重に判断すること、経営状態を好転させ、年間臨給の満額回答を求めて引き続き協議していくことを説明しました。

今月は山陰の各地で自治体選挙が行われます。

4月18日(日)は、**○松江市長選・松江市議会選挙** **○伯耆町議会選挙** **○奥出雲町議会選挙** 投開票日です。

3市町とも期日前投票、不在者投票を行っています。居住地・地元の政治に関心を持ち、投票をお願いします。